

JA・6次化ファンドにかかる投資決定について

JAグループは、一体となってグループの総合力・組織力を発揮し、農林水産業の6次産業化の促進を図っていく方針を打ち出しています。

平成 25 年 5 月、農林中央金庫、全国共済農業協同組合連合会および(株)農林漁業成長産業化支援機構 (A-FIVE) の出資によるサブファンド「農林水産業協同組合ファンド」(以下「JA・6次化ファンド」という。)を設立し、これまで 11 件の投資を決定し、全国に 48 ある同種のファンドのなかで最多の投資実績を確保しています。

今回、新たに 12 件目として、「株式会社對馬原木しいたけ」への出資を行うことを決定しました。今後も本ファンドの活用等を通じ、「農林水産業の成長産業化」の実現、地域の農林水産業の更なる発展に貢献してまいります。

1 案件の概要

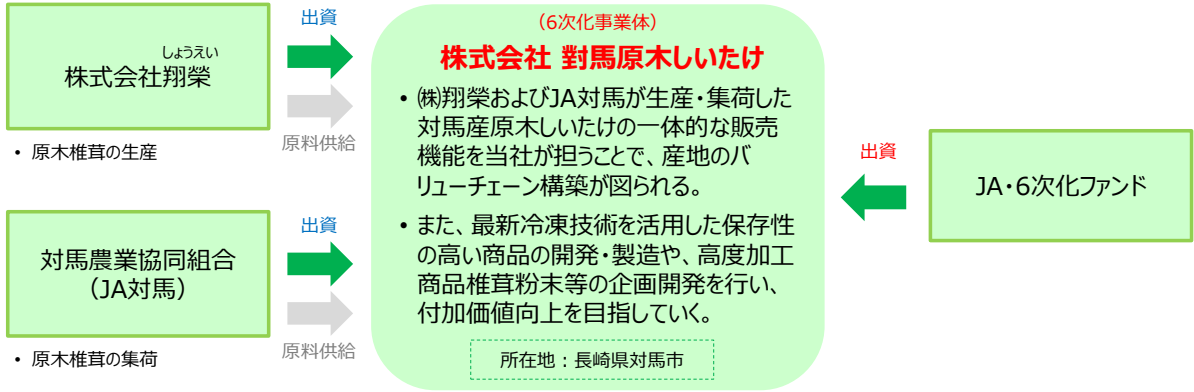
- 長崎県對馬市にて原木しいたけを生産する「株式会社翔榮」と「對馬農業協同組合」が共同出資のうえ、「株式会社對馬原木しいたけ」(以下「当社」という。)を設立。
- 株式会社翔榮および對馬農業協同組合が生産・集荷した對馬産原木しいたけの一体的な販売機能を当社が担うことで、産地のバリューチェーン構築が図られる。また最新冷凍技術を活用した保存性の高い商品の開発・製造や、高度加工商品椎茸粉末等の企画開発を行い、付加価値向上を目指していく。当社は、JA・6次化ファンドより 50 百万円の資本を調達する。

2 当社の概要

| | |
|-------|-----------------------|
| 社 名 | 株式会社 對馬原木しいたけ |
| 代 表 者 | 木村 一彦 |
| 所 在 地 | 長崎県對馬市厳原町下原 162 番地第 1 |
| 事業内容 | 對馬産原木しいたけの販売、加工品製造 |

以 上

[スキーム図]



[商品イメージ]



[参考：6次化ファンドの投資実績]

